



### 速報

#### 第3号

ききました。  
 テアを発表いた  
 についてアイ  
 観点から防  
 ラスなど、幅  
 化、TV、建  
 り地方伝説や食  
 専門家の方々  
 張りながら、  
 の名産品の芋  
 形山形市で開  
 関東地方を飛  
 フェinやまが  
 今回の『ぼう

十月十四日、山形県山形市の『鈴川公民館』にて、『ぼうさいカフェ』を開催。秋の味覚「芋煮」を食べつつアイデアを出し合い、山形ならではの防災学習ができました。

各発表にコメントをいただいたのは山形大学理学部地球環境学科の元教授、陶野●●先生。司会進行はご当地DJのドンキー佐藤さん。豊富な知識と経験を持つ陶野先生の解説と、笑いを誘いながら聞く人の関心を高めるドンキー佐藤さんの司会が場内の熱気を高め、参加者は楽しみながら防災についての理解を深めることができました。



速報  
 おいしい芋煮を食べながら  
 ぼうさいを学びました

山形だけの  
 ぼうさいアイデアが  
 生まれました

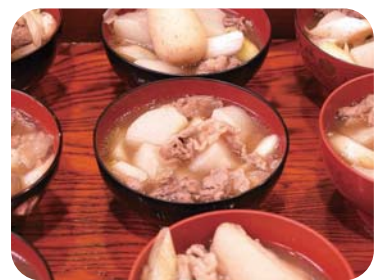


各専門分野を持つ市民の発表で『ぼうさいカフェ』が開会。従来から重視されている住宅の「耐震」の知識や、倒壊を免れた場合に危険とされる「ガラス」について学び、最新技術の「緊急地震速報」についても知ることができました。

それらに加え、山形に住む人なら誰でも知っている「芋煮」や「水まま・漬け物」「蔵」が防災に活かせることも学習。後半の陶野先生の解説から、すべてを融合させ、山形独自の防災方法を学習できました。



カフェメニューは  
 山形の秋を感じる  
 おいしい特産品



山形の秋を彩るおいしいメニューが並びました。山形牛を使った芋煮、伝統食「水まま」、ご当地大豆を使った「豆腐プリン」、市内の洋菓子店からは手作りのアイスクリームが提供されました。

家族と一緒に



子どもたちのぼうさい学習は見て触って驚くこと。「何だろっ?」という疑問から、地震の知識を見つけていました。

閉会后に早速  
 ぼうさいアイデアが  
 話し合われました



『ぼうさいカフェ』終了後に自然と参加者の話し合いの輪ができ、「山形県にも活断層があることが驚きだった」「帰って早速、家を耐震チェックしてみたい」「防災ガラスがほしくなった」「地震速報の活用の仕方が分かった」「山形の人は被災経験がないので、啓蒙活動が必要など、井戸端会議のように、活発に意見が交わされていました。



【主催】内閣府、防災推進協議会 【後援】山形県、山形市、山形商工会議所

【特別協力】AGCガラスパワーキャンペーン事務局、NHK山形放送局、城北麺工株式会社、高橋畜産食肉株式会社、日本赤十字社山形県支部、社団法人日本損害保険協会、防災チーム山形「蔵」、MATILDA BAY、株式会社ミクロ、社会福祉法人山形県社会福祉協議会、社会福祉法人山形市社会福祉協議会、山形県リハビリセンター